

埼玉県地域保健医療計画第7次圏域別取組(案)に対する意見について

- 1 朝霞市・志木市・和光市・新座市
- 2 柳下委員
- 3 前野委員
- 4 関谷委員

埼玉県朝霞保健所 総務・地域保健推進担当 行

平成30年1月19日（金）までに御回答ください。
（特に御意見等がない場合は回答不要です。）

朝霞市健康づくり課

担 当 名 (朝霞市保健センター)

氏 名 佐甲 文子

回 答 書

1 取組項目についての御意見

別添項目案について御意見がありましたら、記入をお願いします。

朝霞地区4市では、県から依頼を受け、昨年度末より第三次救急医療体制の整備について協議を重ねてまいりました。

その結果、各市（4市）において、国立病院機構埼玉病院が救命救急センターの指定を受けるまでの支援として、新たに救急医療の寄附講座を平成30年度当初予算に計上し、新規事業として実施できるよう準備をすすめているところです。

この間の協議において、4市としては「救急医療に関する寄附講座設置の根拠として、朝霞地区における救急救命センターの設置を県の地域保健医療計画に明記してほしい」という旨を県に伝えており、県からは、第7次地域保健医療計画書（案）では、「地理的空白地帯を埋め・・・」という明記にしたとの連絡がありました。

このことから、今回、照会のありました「圏域別取組」（案）におきましても、何らかのかたちで「救命救急センターの整備が必要」あるいは「救命救急医療の充実が必要」という内容を記載していただくことを要望します。

埼玉県朝霞保健所 総務・地域保健推進担当 様

平成30年1月19日（金）までに御回答ください。
（特に御意見等がない場合は回答不要です。）

担 当 名 志木市健康福祉部健康政策課

氏 名 課長 今野美香

回 答 書

- 1 取組項目についての御意見
別添項目案について御意見がありましたら、記入をお願いします。

【救急医療】も新たな取組み項目に加えていただきたい。

項目案提案の理由：

埼玉県地域保健医療計画（第7次）素案では、「救急救命センターの整備にあたっては、救急医療圏単位で一定の人口規模を目安にしつつも、地理的空白地帯を埋め、適切な治療を提供できるようにする必要があります」（55ページ）とし、人口や地理的状況を考慮した救命救急センターの整備を主な取組みに掲げている。

第二次救急医療圏域のうち朝霞地区4市で構成する朝霞地区救急医療圏には、救命救急センターがないため、同圏域に救命救急センターを設置することの必要性が認められるものと考えられることから、南西部保健医療圏の圏域別取組の新たな項目に「救急医療」を加えることが望ましい。

埼玉県朝霞保健所 総務・地域推進担当 御中

平成30年1月19日（金）までに御回答ください。

（特に御意見等がない場合は回答不要です。）

担当名 和光市保健福祉部健康保険医療課

氏名 大野孝治

回 答 書

1 取組項目についての御意見

別添項目案について御意見がありましたら、記入をお願いします。

朝霞地区4市では、県から依頼（平成29年4月13日付医人第17号）を受け、昨年度末より第三次救急医療体制の整備について協議を重ねてまいりました。

その結果、国立病院機構埼玉病院が救命救急センターの指定を受けるまでの支援として、新たに救急医療の寄附講座の設置を了承し、平成30年度新規事業として実施できるよう準備をすすめているところです。

この間の協議において、「救急医療に関する寄附講座設置の根拠として、朝霞地区における救急救命センターの設置を県の地域保健医療計画に明記してほしい」という旨を県に伝えており、県からは、第7次地域保健医療計画書（案）では、「地理的空白地帯を埋め・・・」という明記にしたとの連絡がありました。

このことから、今回、照会がありました「圏域別取組」（案）につきましても、何らかのかたちで「救命救急センターの整備が必要」あるいは「救命救急医療の充実が必要」という内容の記載と、先例の寄附講座事業同様、取組についての追記も要望します。

埼玉県朝霞保健所 総務・地域推進担当 様

平成30年1月19日（金）までに御回答ください。

（特に御意見等がない場合は回答不要です。）

担 当 名 新座市保健センター

氏 名 健康計画係 八木

回 答 書

1 取組項目についての御意見

別添項目案について御意見がありましたら、記入をお願いします。

埼玉県における救命救急センターの整備率は、全国平均と比較すると低いこと、第二次救急医療圏域のうち朝霞地区4市で構成する朝霞地区救急医療圏には、救命救急センターがなく、重症事案の16.2%が東京都の医療機関に搬送されているという状況から、当地区（朝霞地区救急医療圏）に救命救急センターを設置することの必要性が認められる。

第三次救急は、生命の危機が切迫している重篤患者に対応するもので、県が救命救急センターを整備している。医療計画（素案）には、「救命救急センターの整備に当たっては、救急医療圏単位で一定の人口規模を目安にしつつも、地理的空白地帯を埋め、適切な治療を提供できるようにする必要があります。」との記載があり、救命救急センターの整備と機能化に向けては、専門医の人材育成が不可欠であるため、寄附講座の設置はそのための手法の一つとして有効な手段である。

救急医療に関する寄附講座設置の根拠として、今後県が第二次救急医療圏域を単位として救命救急センターを整備していく旨を、次期埼玉県地域保健医療計画に明記することにより、救急医療の専門医の人材育成を目的とした寄附講座を設置することの妥当性が認められるものとする。埼玉県は、朝霞地区救急医療圏での寄附講座設置を先例とし、県内における救急医療体制の整備手法として寄附講座を活用していくことを計画等において示すことが必要である。

このため、「南西部圏域別取組」に「周産期」「小児」のみではなく、「救急医療」を加えるべきと考えます。

埼玉県朝霞保健所 総務・地域保健推進担当 野本 裕幸さま

平成30年1月19日（金）までに御回答ください。

（特に御意見等がない場合は回答不要です。）

担当名 埼玉県南西部保健医療圏・地域医療構想協議会委員

氏名 柳下 譲次

回 答 書

1 取組項目についての御意見

別添項目案について御意見がありましたら、記入をお願いします。

私は、自分が平成21年と平成23年に父と母を在宅で看取った経験から、団塊の世代全員が75歳以上になる2025年までには、24時間の緊急往診が可能で、在宅看取りにも手慣れた在宅医療機関の充実が欠かせないと考えています。

平成21年～23年の頃は、まだ朝霞中央クリニックやまちだ訪問クリニックが開設したばかりで、在宅で家族を亡くすと、ほとんどの場合、救急車でかかりつけの病院に搬送して貰い、ターミナル治療後に死亡診断書を貰い、葬儀社に諸手配をするという時代でした。

今現在、南西部保健医療圏には、年間50件以上と県内トップクラスの在宅看取り件数（添付参照）の朝霞中央クリニック（70件）や富士見在宅クリニック（56件）、まちだ訪問クリニック（55件）があり、在宅医療面では大変恵まれています。

しかし7年後の2025年までに在宅医療ニーズが加速度的に増加することを考慮すると、在宅医療の一層の充実喫緊の課題で、「在宅医療の推進」のなかで、24時間往診可能で在宅看取りを担う在宅療養支援診療所の更なる整備は欠かせない施策だと考えます。

幸い、今年5月にTMGあさか医療センターと連携する訪問診療・整形外科クリニックが北朝霞駅北口に新規開設という計画があると聞き、期待しています。

南西部保健医療圏で24時間往診可能で在宅看取りを行う医療機関一覧(2018.1.17現在) 2018年1月17日作成 柳下謙次

医療機関	住所	年間在宅看取り件数	在宅療養支援病院・診療所	医師会会員	許可病床数	常勤換算の医療職人数(人)				報告年月日
						医師	正・准看護師	理学療法士等	薬剤師、技師等	
朝霞中央クリニック	朝霞市岡9-3	70	○	会員	0	5.5	2.0	0.0	0.2	2018.01.05
まちだ訪問クリニック	朝霞市本町1-34-1*ビル1F	55	○	会員	0	2.6	2.2	4.4	0.0	2017.01.25
アース訪問クリニック	志木市本町5-23-24 第3本吉ビル	11	○		0	1.2	1.6	0.0	0.0	2016.02.19
オアシス愛生クリニック	和光市新倉2-5-49	4	○		0	1.1	2.0	0.0	0.0	2017.02.24
わこう在宅診療所	和光市丸山台1-4-3ヴェルテ和光6	2	○		0	6.0	2.0	0.0	0.0	2017.01.24
坪田和光病院	和光市白子2-12-15	0	◎	会員	一般51床	8.3	17.4	1.0	3.0	2017.02.21
堀ノ内病院	新座市堀ノ内2-9-31	29	◎	会員	一般170床	31.9	118.1	6.0	16.0	2017.01.23
堀ノ内クリニック	新座市本多1-3-8	3	○	会員	0	2.8	3.6	0.0	0.0	2017.01.10
平山クリニック	新座市池田2-5-3の1F	0	○	会員	0	1.0	3.0	0.0	0.0	2018.01.15
富士見在宅クリニック	富士見市針ヶ谷2-8-7	56	○		0	3.8	0.7	0.0	0.0	2017.01.28
さくら記念病院	富士見市水谷東1-28-1	0	◎	会員	一般91床	9.8	74.4	4.0	5.0	2018.01.11
ふじみ野中央クリニック	ふじみ野市鶴ヶ岡4-16-15	23	○		0	1.6	7.6	0.0	0.0	2017.02.24
富家在宅リハビリセンター	ふじみ野市亀久保1839-4	15	○	会員	0	3.6	7.5	3.8	0.0	2017.01.16
竹下内科	ふじみ野市新田1-1-27	10		会員	0	1.0	0.0	0.0	0.0	2016.12.27
内科小児科石川医院	ふじみ野市西2-1-11	3		会員	0	1.0	4.0	0.0	0.0	2017.01.06

出典：埼玉県医療機能情報提供システム(2018年1月17日現在) ◎印は在宅療養支援病院、○印は在宅療養支援診療所(2018年1月1日現在)

埼玉県内の24時間往診可能で在宅看取りを行う医療機関一覧：看取り件数の多い順（看取り年間20件以上） 2018年1月22日改訂 柳下謙次 (1/2)

医療機関	住所	年間の在宅看取り件数	在宅患者数1日平均(人)	外来患者数1日平均(人)	病棟・診療所	市医師会	許可病床数	医師		報告年月日	
								正・准看護師	常勤換算の医療職人数(人)		
西村ハートクリニック	上尾市宮本町3-2シテイタワー上尾	118	44.8	29.1	○	○	0	6.6	5.5	6.0	2017.03.28
朝霞中央クリニック	朝霞市関川4-15-25	70	470.0	0.0	○	○	0	5.5	2.0	0.0	2018.01.05
さやま総合クリニック	狭山市入間川14-15-25	64	6.0	1,321.9	○	○	0	45.1	46.0	6.0	2017.01.23
辻川ホームクリニック	狭山市入間川14-15-25	59	20.0	0.0	○	○	0	3.0	0.0	0.0	2017.03.01
富士見在宅クリニック	富士見市針ヶ谷2-8-7	56	17.4	0.5	○	○	0	3.8	0.7	0.0	2017.01.28
まちなだ訪問クリニック	朝霞市本町1-34(1F)ビエラクリニック	55	23.0	25.0	○	○	0	3.3	3.0	4.5	2018.01.18
南須原医院	長瀬町本野上174-3	55	20.0	90.0	○	○	0	8.0	14.0	2.0	2018.01.12
まちなだ在宅クリニック	三郷市宇ヶ崎1-568-1	52	22.5	0.0	○	○	0	3.1	5.0	0.0	2018.01.17
あまの在宅クリニック	上尾市大字上20-8	52	8.4	1.0	○	○	0	2.0	6.0	0.0	2017.01.23
坂戸訪問診療所	坂戸市日の出町8-13 1F	51	16.0	1.0	○	○	0	3.0	5.0	0.0	2018.01.17
まるクリニック	草加市草加1-18-12 2F	50	8.9	0.4	○	○	0	1.3	1.3	0.0	2017.02.23
中澤医院	東松山市本町2-3-11	48	4.0	60.0	○	○	0	1.0	0.0	0.0	2018.01.19
メディックス草加クリニック	草加市永川町2149-3 1F	47	30.0	8.0	○	○	0	2.5	2.7	0.0	2018.01.10
新都心ホームケアクリニック	さいたま市中央区上落合2-6-1シテイ	46	30.0	20.0	○	○	0	1.5	3.0	0.0	2017.03.12
鶴ヶ島在宅医療診療所	鶴ヶ島市高倉772-1	41	5.2	93.5	○	○	19	3.2	14.2	3.0	2017.01.13
ふたばクリニック	さいたま市緑区原山4-33-24	40	5.0	90.0	○	○	0	2.0	3.0	0.0	2018.01.10
シヤローム病院	東松山市松山1496	40	0.0	0.0	○	○	55	9.0	49.0	3.5	2017.02.01
ゆずクリニック	川口市伊刈1543-6	38	28.0	0.4	○	○	8	4.0	9.8	0.0	2017.01.19
石井医院	さいたま市浦和区神明1-22-6	37	4.6	29.1	○	○	0	1.1	2.7	0.0	2017.03.22
岡野クリニック	越谷市赤山本町7-2	36	10.1	176.6	○	○	0	1.5	6.0	3.2	2018.01.12
みずの内科クリニック	所沢市新井4-27-4	35	6.2	51.0	○	○	0	1.4	3.2	0.0	2017.03.07
北本矢澤クリニック	北本市北本1-107江利川ビル1F	35	10.0	5.0	○	○	0	3.0	1.0	0.0	2017.03.01
つばさクリニック	さいたま市見沼区東門前43-1	31	19.0	70.0	○	○	0	2.0	2.0	0.0	2017.03.21
わかさクリニック	所沢市若狭4-2468-31	31	9.2	467.5	○	○	0	8.0	14.8	0.0	2016.01.30
あねとす病院	栗谷市町人1975	31	0.0	94.3	○	○	187	8.4	58.7	6.0	2017.01.27
本間医院	小笠野町小笠野399	31	0.0	40.2	○	○	0	3.0	3.0	0.0	2017.01.17

出典：埼玉医療連携情報提供システム(2018年1月22日現在) ◎印は在宅医療支援診療所、○印は在宅医療支援病院、○印は在宅医療支援診療所(2018年1月1日現在)

注1：さやま総合クリニックは「石心会グループ」の大型外来専門医療機関

埼玉県内の24時間往診可能で在宅看取りを行う医療機関一覧：看取り件数の多い順（看取り年間20件以上） 2018年1月22日改訂 柳下謙次 (2/2)

医療機関	住所	年間の在宅看取り件数	在宅患者数1日平均(人)	外来患者数1日平均(人)	病棟・診療所	市医師会	許可病床数	医師		報告年月日	
								正・准看護師	常勤換算の医療職人数(人)		
類ノ内病院	新座市類ノ内2-9-31	29	5.2	439.0	◎	◎	0	31.9	118.1	6.0	2017.01.23
かわぐち在宅診療所	川口市栄町三丁目10番3号みどりビル	29	20.0	0.0	○	○	0	7.0	4.0	0.0	2017.01.11
越谷ハートフルホスピタル	越谷市川柳町3-50-1	29	26.8	162.0	○	○	0	6.5	16.6	4.7	2018.01.12
ながさわ内科	所沢市小手指元町2-29-21	25	3.0	55.0	○	○	0	1.0	2.0	0.0	2017.01.17
はとがや病院	川口市坂下町4-16-26	25	25.0	148.6	○	○	100	12.4	34.3	12.0	2017.02.13
白岡ファミリークリニック	白岡市小久喜200-1	24	2.6	50.0	○	○	0	1.0	1.0	0.0	2017.01.06
川島クリニック	川島町大字伊草96-1	24	9.6	28.5	○	○	0	1.0	2.1	0.0	2017.01.25
斎藤クリニック	蕨市中央3-19-14	23	3.3	48.7	○	○	0	1.0	4.0	0.0	2018.01.21
ふじの野中央クリニック	ふじの野市緑ヶ岡4-16-15	23	20.0	6.0	○	○	0	1.6	7.6	0.0	2017.02.24
後谷診療所	八潮市南後谷751	23	4.3	64.8	○	○	0	2.2	4.0	0.3	2018.01.10
ひろクリニック	さいたま市見沼区東大宮5-39-3英	22	19.0	2.0	○	○	0	1.5	1.3	0.0	2018.01.04
ハヤカワクリニック	川越市草田町23-2 ドミ東田105	21	5.0	40.0	○	○	0	1.0	0.0	0.0	2018.01.18
青木中央クリニック	川口市柳崎3-7-24	21	33.5	257.7	○	○	19	6.4	17.8	25.4	2017.01.18
さいわい診療所	川口市中青木4-1-20	21	5.0	83.9	○	○	0	2.4	7.3	0.0	2017.01.05
さくらそう診療所	さいたま市中央区本町東2-7-23	20	70.0	2.0	○	○	0	1.0	2.0	0.0	2018.01.20
丸木記念福祉ケアセンター	毛呂山町毛呂本郷38	20	3.0	90.9	○	○	624	27.1	215.6	49.0	2017.01.31

出典：埼玉医療連携情報提供システム(2018年1月22日現在) ◎印は在宅医療支援診療所、○印は在宅医療支援病院、○印は在宅医療支援診療所(2018年1月1日現在)

埼玉県朝霞保健所 総務・地域保健推進担当 篠 様

平成30年1月19日(金)までに御回答ください。

(特に御意見等がない場合は回答不要です。)

担当名

氏名 前野 房子

回答書

1 取組項目についての御意見

別添項目案について御意見がありましたら、記入をお願いします。

生活習慣病予防から始める健康づくり(糖尿病対策含む)について、私たちの食改む、健康づくり関係団体の一環だと思いますが、目標は、誰もが毎日を健康で生き生きと暮らすことができ、健康寿命の延伸と、医療費の抑制を実現する、健康長寿社会とめざすために、食へのとりかへは重要であり、適切な食生活を市民に広めて行くことが大切である。そして、食生活の改善に力を入れる人と一人でも多くつくる事が、目標です。

主な取組は、この数年果敢の委託で、生活習慣病予防のための食生活改善支援事業を実施しております。地域の健康課題、生活習慣病予防の必要性を一人でも多くの市民に広めて行く、私たちの会の実践目標の一つ、減塩活動を広めて行く、私たちのできる、食を通じた、健康づくりのために、地域に根ざした食育活動を、進めてまいりたいと思っております。

埼玉県朝霞保健所 総務・地域保健推進担当 行御中

平成30年1月19日(金)までに御回答ください。
(特に御意見等がない場合は回答不要です。)

担当名 東入間医師会

氏名 関谷 治久

回答書

1 取組項目についての御意見

別添項目案について御意見がありましたら、記入をお願いします。

2013年の厚生労働省の調査を見ると、死亡の場所別に見た死亡数・構成割合の年次推移は、74.6%病院、12.7%自宅、6.3%老人ホーム、2.0%診療所、2.3%介護老人保健施設、2.1%その他 になっていて、人の終末期は、病院で迎えるケースがまだ多く、それに対しての医療費が必要となっています。施設から在宅へという流れにはなっていますが、病院における終末期医療も取組項目として協議すべきではないでしょうか。